

2024年5月31日

株式会社ACSL

ACSL、物流専用ドローンのLTE接続を強化、 ナビコムアビエーションとElsightがソリューションを提供

- ACSLは、物流専用ドローンへナビコムアビエーション及びElsightが提供する通信モジュール「Halo」の導入を決定
- 「Halo」の導入により、中山間地域等において大きな課題となっているLTE通信の強化を行い、長距離の目視外飛行が前提となる物流分野でのドローン物流の社会実装を推進

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役 CEO：鷲谷聡之、以下、ACSL）は、ナビコムアビエーション株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：平塚弘司、以下、ナビコムアビエーション）及びイスラエルのElsight Ltd.（本社：Or-Yehuda Israel、CEO：Yoav Amitai、以下、Elsight）の提供する通信モジュール「Halo」を物流専用ドローンへ導入することを決定しました。

「Halo」は、ドローンの目視外飛行に特化して設計、特許取得されているLTE、5G、衛星通信を統合可能なプラットフォームであり、安全な飛行に不可欠であるC2リンク*の接続の信頼性を向上するソリューションとしてすでにヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア等において最新のドローン製品への普及が進んでいます。

日本においては、2022年12月のレベル4飛行*解禁や、2023年12月のレベル3.5飛行*の創設により社会実装に向けた制度整備が進む一方で、これまで中山間地域や離島など、物流分野におけるドローンの活用のニーズが高い地域においては、長距離の目視外飛行に必要なLTE通信の脆弱性が課題となっていました。

ACSLは、「Halo」の導入により、LTE通信の接続性を大幅に向上させるとともに、複数の通信会社のLTE通信を冗長化することにより、これまで単一のLTE通信では飛行が難しかったエリアでの飛行を可能とし、物流専用ドローンの提供と併せ、物流分野でのドローンの社会実装を更に推進してまいります。



※ C2リンク

ドローンの遠隔操作と制御に使用される「Command and Control Link」の略

※ レベル4

「有人地帯における補助者なし目視外飛行」

※ レベル3.5

従来のレベル3（「無人地帯における補助者なし目視外飛行」）で必要とされる立入管理措置（補助者・看板の配置）がデジタル技術の活用により撤廃となり、道路や鉄道等の上空の横断が条件付きで可能となる飛行方法

ACSL 代表取締役 CEO 鷺谷 聡之コメント

私たち ACSL は、2018 年のレベル 3 飛行[※]や 2023 年 3 月の第一種型式認証の取得とレベル 4 飛行の実現をはじめ、国産ドローンのリーディングカンパニーとして、これまで各分野における日本のドローンの利活用拡大を推進してきました。そして、国内で特に注力すべき分野と位置付けている物流分野において最も重要な課題の 1 つである通信環境の確保に向け、革新的な技術を持つパートナーと協業できることを大変嬉しく思います。Elsight の製品は、各国で物流ドローンにおいて、採用実績が広がっており、当社の物流ドローンの品質を高めることでドローンが活用可能なエリアを拡大し、日本における物流分野でのドローンの社会実装の促進に貢献すると考えています。

ナビコムアビエーション 代表取締役社長 平塚 弘司コメント

ナビコムアビエーションは、災害対応や治安活動にあたる有人航空機の安全かつ効率的な運航を支援する機材を、これまで提供してまいりました。ドローンの能力が向上し社会実装が可能となった今日、課題の一つである通信の問題に取り組み解決策を提供することは、私たちの使命であると考えています。私たちは、ACSL 社及び Elsieht 社とともに課題に挑戦し、ドローン運用の拡大によって豊かな未来を創造できるよう努力を重ねていきます。

Elsight CEO Yoav Amitai コメント

Elsight は、ACSL 及びパートナーであるナビコムアビエーションとの連携を大変喜ばしく感じています。本件により、私たちの「Halo」ソリューションを用いたドローン等の自律システムが、目視外飛行の能力を強化することで新たに有望な市場開拓が可能となります。

「Halo」は様々な分野のあらゆるドローンの活用に適しており、商業利用されているほとんどの無人航空機のモデルとシームレスな統合が可能です。ドローン市場拡大の真の推進力となる更なる課題解決とコスト削減を Elsieht の「Halo」が可能とし、目視外でのミッション実現の鍵となります。

【株式会社 ACSL について】 <https://www.acsl.co.jp/>

ACSL は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

【ナビコムアビエーション株式会社について】 <https://www.n-aviation.com/>

ナビコムアビエーションは、日本の航空市場向けに地図システムを開発し、アジア地域での市場拡大に着手しています。イリジウム衛星通信をベースとした地図システムは、国の中枢を担う官公庁で採用されています。警察庁、消防航空隊、自衛隊、その他民間事業者、民間航空会社が主なお客様です。

【Elsight について】 <https://www.elsight.com/>

Elsight は、独自の統合接続技術によりソフトウェアとハードウェアの両面から信頼性が高く安全な広帯域幅の通信を提供し、最も過酷な環境でも、固定、ポータブル、または移動中の状況に対応します。Elsight は、無人航空機及び地上システムの製造事業者、運用者、およびインテグレーターに対して、強

固で安全な通信接続を世界中で提供しています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社A C S L 広報担当

Tel : 03-6456-0931 Email : pr@acsl.co.jp

以 上